



「現在、新システムの開発に取り組んでいる。これが完成すれば、社員一人ひとりの労働時間の短縮につながり、その空いた時間を有効利用して違う仕事に活用できるなど、会社全体の効率化を推進できる。このことが将来的にはコストの見直しに寄与するものと判断している」と語るのは、Hグレードファブで、ビル

新システムの開発に取り組む

三木 桂吾氏

トHメーカー最大手の桂スチールの三木桂吾社長。

「例えば作業日報、これを完全ペーパーレス化にする予定で、そのために入力によりシンプルなタブレット(全社的に60〜70台)を活用する。そうすることで

すべての作業がより「見える化」へと変貌する。間違いが極力少なくなる」と具体的な取り組みを紹介する。「こうした新しい試みは工程管理、ミルシート管理にも適応させていく。社員全員が多くの情報を共有することでミス、ムダがなくなり、生産効率と利益率アップにつながっていくものと信じている」という。

そのほか、家族手当制度を来月から改定する方針という。配偶者手当は現状のまま、特に子ども手当の充実を図っていく。(桂スチール社長、兵庫県)